滋賀報知新聞
八幡特報
令和3年(2021年)
9月7日(火)
発行所
滋賀報知新聞社
(中部)東近江市中野町1005
TEL0748(23)1111
(大津)大津市京町4丁目5−23
TEL077(527)1111
(東京)東京都中央区新富二丁目4−3
TEL03(3552)0733
©滋賀報知新聞社(2021年)
©滋賀市民新聞社

災害時の感染症発生時であっても

一般廃棄物の収集運搬を継続

市が業務委託業者と協定

緊急時の生活インフラを守る

近江八幡市は1日、市が業務委託している一般廃棄物収集運搬業者及び県環境整備事業協同組合との間で災害及び感染症が発生した場合、ごみやし尿等の収集運搬業務が滞ることなく継続されるようにする協定を結んだ。県内の各市町でも締結が進んでいる。

市は現在、一般廃棄物の収集運搬業務を6つの事業者に業務委託しているが、近年、頻発している大きな規模の風水害による被害や、新型コロナウイルス感染拡大症等の非常事態時であっても、安定的な廃棄物の収集運搬は市民の生活インフラとして不可欠であることから、市内の一般廃棄物収集運搬業務を担っている委託業者との間で危機管理意識を共有し、非常事態時の対応を取り決め、協定を締結した。

主な内容は、▽災害や感染症拡大の非常事態時において6つの業務委託業者は、市の支援要請を受けた場合、可能な範囲で支援する▽その履行が困難な場合は、県環境整備事業協同組合に支援要請し、収集運搬業務が実施できるようにする▽支援業務で発生した7日間分の費用は市に原則求めない、などとなっている。

具体的には、ごみ運搬車が水害等の災害被害に遭い収集運搬が出来なくなった場合や、業務従事者が新型コロナに感染して、通常の収集運搬が出来なくなった場合、他の事業者が代行したり、運搬車の手配や人材の確保等、相互に協力して取り組むなどが想定されている。

協定締結式で小西理市長は「事業者のみなさんのご協力に感謝するとともに、大変心強く、ありがたく思います。引き続き力添えをお願いします」とあいさつした。

協定を結んだ一般廃棄物収集運搬事業者

市長選と市議補選 来年4月10日告示

近江八幡市選管は1日に開いた委員会で、任期満了に伴う市長選挙を来年4月10日告示、同17日投・開票とすることを決めた。また、欠員が2人となった市議会についても、同日の日程で補欠選挙を執行することにした。開票所はサンビレッジ近江八幡（鷹飼町）。立候補予定者説明会は来年2月頃の予定。有権者数6万7157人（1日現在）。

「健康しが」をめざして

三日月大造氏

感染拡大を食い止めるために

滋賀県知事　三日月　大造

9月に入り、朝夕は幾分か過ごしやすくなりました。

先月は、お盆の前後にかけて続いた大雨の影響で、県内各地で家屋の浸水や道路の冠水、土砂崩れ等の被害が発生しました。

幸い、けが人等の人的被害はありませんでしたが、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧に取り組んでまいります。これから台風シーズンを迎えますので、水害・土砂災害への備えをお願いします。

新型コロナウイルス感染症については、全国的に感染が急拡大し、本県でも連日3桁を超える新規陽性者が確認されています。

医療提供体制が極めてひっ迫し、コロナ患者向けの病床使用率が約9割に達し、やむを得ず自宅で療養いただいている方もいます。この危機的な状況を受け、8月6日より「コロナとのつきあい方滋賀プラン」のステージ判断を『特別警戒ステージ』へ引き上げ、8月27日に、『緊急事態宣言』の実施区域となりました。

◆◇◆◇◆◇